



PRESS RELEASE

2010年3月15日

新型インフルエンザ沈静化のリバウンド効果、小学校英語必修化による英語熱の高まりを背景に  
英会話スクールのシェーンコーポレーションジャパンと旅行業のエイチ・アイ・エスが  
語学留学サービスで業務提携継続 売上5割増しの見込み

株式会社シェーンコーポレーションジャパン  
株式会社エイチ・アイ・エス

英会話スクールをチェーン展開する株式会社シェーンコーポレーションジャパン（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：シェーン・リップスコム／宮本早人、以下シェーン）と株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：平林 朗、以下 H.I.S.、担当部署：トラベルワンダーランド新宿本社語学研修デスク）は、2006年12月から語学留学サービスで業務提携していますが、今年度も提携を継続し、留学ブランド「シェーンワンダーランド」と、小・中・高生のための夏休み語学研修「シェーンジュニアバケーション」を協同で企画販売いたします。

業務提携に至ったのは、シェーンにとっては H.I.S. が価格優位性に優れるため、また H.I.S. にとってはシェーンの海外ネットワークと質の高いサービス（レッスン）を活用できるため、両社のコラボレーションにより高付加価値の商品を適正価格で提供するメリットを創出できると判断したためです。

因みに、語学留学サービスで英会話スクール業と旅行業が業務提携するのは（継続しているのは）本件だけです。

2007年度以降の推移は、一昨年を経済不況、昨年の新型インフルエンザの大きな影響があったなかで横ばいできており、堅調を保っています。現在も、引き続き景気低迷や、燃油サーチャージの値上げなどで厳しい環境にはありますが、一方で新型インフルエンザ沈静化のリバウンド効果や来年度から導入される小学校での英語教科必修化による英語教育熱の高まりなどで、今年度は売上げベースで5割増しを見込んでいます。

また、この間、留学目的に変化が見られ、これまでの“おけいこ留学”から、資格取得や TOEIC 対策、子どもの国際人としての素養育成など参加者の目的が明確化し、より実践的なニーズの増大と滞在期間の長期化の傾向があります。

留学先となる海外校は、「シェーンワンダーランド」が英、米、豪、加、ニュージーランド、南ア、ベトナム、アイルランド、マルタの9カ国で11カ所のシェーンスクール及び提携校、「シェーンジュニアバケーション」が英、豪、米、加、ニュージーランドの5カ国で7カ所のシェーンスクール及び提携校があり、留学希望者に多くの選択肢を用意しています。

なお、来る3月28日(日)、東京国際フォーラム(ホール棟5階ホールD5)において、英会話と留学の祭典「Shane English Festa 2010」を開催しますが、当日は会場で留学先となる海外校の紹介や留学に関するカウンセリングなどを実施いたします。



シェーン英会話は、国内約200校/海外約80校にスクールを展開しています。また、企業や学校に講師を派遣する事業、海外校で英語研修を行う留学事業を運営しています。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社シェーンコーポレーションジャパン 広報室：菊地岳彦  
〒111-0052 東京都江戸川区西葛西3-22-21 KYUビル4F  
TEL：03-3675-6867 FAX：03-3869-2636 E-mail：[takehiko.kikuchi@shane.co.jp](mailto:takehiko.kikuchi@shane.co.jp)

株式会社エイチ・アイ・エス トラベルワンダーランド新宿本社 語学研修デスク所長：室井 哲  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-8 サウスゲート新宿ビル9F  
TEL：03-5360-4600 FAX：03-5360-4820 E-mail：[tx-muroi@his-world.co.jp](mailto:tx-muroi@his-world.co.jp)  
(一般からのお問合せは、上記のH.I.S.が窓口となります)